



K 中通信

学校だより第10号
令和6年1月19日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

謙虚な心

校長 佐藤 由利

新しい年が明け、学校がスタートしてからそろそろ2週間になろうとしていますが、今年
は元日に能登半島地震が発生し、被災地では、今なお厳しい状況が続いています。お亡くな
りになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の皆さまに心よりお見舞い申し
上げます。私たちも、今できることは何か、しっかり考えていきたいと思えます。

今年に入ってからさすがに気温の低い日が続いています。つつい背中が丸まり、身体が
縮こまってしまっていますが、朝、昇降口前で、少し顔を上げて背筋を伸ばし、空を見上げてみ
ると、凜とした空気の中で澄み切った青空が美しく、今日も一日がんばろう、という気持ち
になります。

学校(学年)のスタートは4月ですが、やはり新年ということで、「今年の目標」を考えた
人も多いと思えます。毎年お正月の風物詩となっている箱根駅伝では、駒澤大学一強との前
評判を見事に覆し、青山学院大学が2年ぶりの総合優勝を果たしました。私は、駅伝という
競技の魅力・そこで繰り広げられたドラマもさることながら、原監督のチームづくりの極意
として語られた一言が心に残っています。「実力(タイム)より、心根のいいヤツをとる」
「組織力やチーム力を押し上げていくのは、『コツコツと努力できる心根の良い人間』だ」。
「心根」とは、心の奥底、真情といった意味のことばですが、原監督の言わんとしているこ
とは、相手の立場にたって考え、互いを認め合う心、人の意見や教えに謙虚に耳を傾け自分
自身を振り返る心、こういう心が育ってはいはじめて、チームも成長していく、ということ
なのでしょう。原監督は「心根が良いヤツ」言い換えれば「謙虚な気持ち」「素直な心」の持
ち主こそが、持てる力を伸ばして成長していける人材だ、と言っているのだと思えます。

今年の目標を考えるにあたって、ぜひ、謙虚な気持ちをもって、素直に自分を見つめ直し
てみてください。学校は、いろいろな人たちとの関わりの中でさまざまに学びを深め、自分
自身のもっている力を伸ばしていく場所です。今年も皆さんが、先生方や仲間と共に、たく
さんの経験を通して心豊かな人に成長していってくれることを楽しみにしています。そして
私自身も、「謙虚な心」「先生方や皆さんと共に学んでいく気持ち」を忘れずにがんばってい
こう、と思いを新たにしているところです。